

2026年3月30日

各 位

株式会社 大垣共立銀行

九重化成への
「OKBポジティブインパクトファイナンス」の実行

大垣共立銀行（頭取 林 敬治）は本日、九重化成株式会社（代表取締役 吉村 岳史）へ「OKBポジティブインパクトファイナンス（以下「PIF」）」を下記の通り実行しました。

PIFは、お客さまの事業活動が経済・社会・環境に与える影響を分析・評価し、特定されたポジティブなインパクト（プラスの影響）の向上とネガティブなインパクト（マイナスの影響）の緩和・低減に向けた、お客さまの取り組みをサポートする融資商品です。

OKB大垣共立銀行はこれからも、社会や環境課題の解決に資する取り組みを一層推進し、地域循環型社会の担い手として、持続可能な地域づくりに貢献してまいります。

記

■本件融資の概要

企 業 名	九重化成株式会社
融 資 実 行 日	2026年3月30日（月）
融 資 金 額	300百万円
そ の 他	・ 評価書 https://www.okb.co.jp/assets/pdf/archive/2026/kokonoe-kasei20260330.pdf ・ 株式会社格付投資情報センター（R&I）によるセカンドオピニオン https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html

■九重化成株式会社の概要

代 表 者	代表取締役 吉村 岳史
所 在 地	岐阜県岐阜市切通1丁目9-11
業 種	調味料製造
ホ ー ム ペ ー ジ	https://kokonoe-kasei.co.jp/

<企業のコメント>

当社は、食品、健康食品などの顆粒の受託製造を行っています。少子高齢化が進み、お客さまの需要は「同じものを大量に安く」から「少量多品種」へとシフトしました。さらに、機能性表示食品のようにプラスαの機能がある製品も増え、当社で取り扱う原料の種類も増加しています。そのため、これまで扱ったことのない原料を使用し、今までになかった製品を作る挑戦を続けています。今後も固定概念に縛られず、原料や物性、用途に応じて製造方法を変更し、安心・安全かつ安定した製品作りに取り組んでいきます。

以 上